

茨城キリスト教学園高等学校同窓会報

ZION

シオン

No.

46

2026



●ZIONコレクションー 15

「音楽室」

コーラス部の原点と言えよう。高校校舎の中では古く、写真右側の音楽室は1968年(昭和43年)に完成し今でも使われている。そして写真左側は化学実験室として1971年(昭和46年)に増築されたが、今では使用されていない。

豊かな自然、恵まれた環境の中で生まれた短歌

「スクリーンに明朝体の文字並びチョークの音のしない教室」

国語科教師 菅野 公子（すがのきみこ）先生

皇居で新年恒例の『歌会始の儀』に、国語科教師 菅野公子先生の短歌『スクリーンに明朝体の文字並びチョークの音のしない教室』が選ばれた。

今年のお題は『明（めい）』、宮内庁からお題が出され、誰でも応募ができる。国内だけでなく海外からも応募があり、1万4600首の中から10首が選ばれ、選ばれた人は、詠進者として『歌会始の儀』に参列する。菅野先生は、令和8年1月14日に皇居 宮殿『松の間』で行われた『歌会始の儀』に参列された。



歌会始の儀に参列された菅野先生

●「歌会始の儀」に参列されていかがでしたか？

とても緊張しました。シーンとしていて何とも言えない空気感、目の前には両陛下がいらして目を開けていいのか、どこを見ていいのかわと只々緊張の一言です。

詠みあげられる瞬間も手に汗握る思いでした。

●両陛下からはどのような言葉をいただきましたか？

天皇陛下からは「学生時代のチョークの音を思い出しました」と、皇后陛下からは「チョークで大変な思いをされたんですね」と、事前に伝えておいたエピソードについて言葉をいただきました。

●皇后陛下からの言葉の「大変な思いをされたんですね」とは、どのようなことがあったのですか？

今は短歌に詠んだようにデジタル化されてきていますが、教師にとって黒板とチョークは無くしてはならないものです。そのチョークの粉で喉を傷めてしまい、チョークは私にとつて厄介者だったのです。

●短歌にあるように「デジタル化になって良かったですね」

今でもチョークは使いますが、デジタル化になりタブレットで映像を見ることは、文字

だけではなくデジタルが目に入ってくるので理解しやすいという良さがありますね。

●高校に勤めて26年ということですが、教師生活はいかがですか？

先生になって良かったと思っています。常にその時代の高校生と直にふれあうことにより、私自身も今の子どもたちの言葉遣いなどを肌で感じられることで、研究することが出来るので、自分自身も成長していると感じます。

また、学園の豊かな自然、恵まれた環境の中で過ごすことで生まれた短歌も多くあります。

●国語教師として日本語の魅力を教えてください

人間は言葉で育つていくと思っています。言語が増えていくことで世界が変わって行くのです。同じことを言うにしても、相手を感じることで言葉を選ぶ、その人が発した言葉がその人なのです。

●「歌会始の儀」に応募したきっかけは何ですか？

ミイハルと思われてしまうかもしれないけれど、「もしかししたら入選すれば、皇居・宮殿のあの場所に行けるかもしれない」という思いです。

●今回10首に選ばれ連絡が来たときはいかがでしたか？

もちろん嬉しかったです。ただいつもは締



授業中の菅野先生

め切りギリギリで、当日消印有効の印を郵便局で押していたのを見届けて提出だったので、今回は3日前にポストに入れることが出来たのも良かったのかもしれない。

●一番に喜びを伝えたのはどなたですか？

主人です。「すごいね」の一言でした。

●テレビに先生を囲む男子生徒が映っていました。男子生徒に人気があるのですね

たまたまで、3年6組の生徒に声をかけたのですが、来てくれたのが男子生徒だけだったので、女子のイメージがある高校なのに男子校のようでした。

終始、笑顔で話をしてくださる先生のお人柄、好奇心旺盛なお姿に感銘を受け、学生時代に戻って授業を受けてみたいと思いました。今後も素晴らしい短歌を詠んでくださることでしょう。

音楽
梅津 直子
先生



合唱コンクール関東大会（1971年10月）に出場

益々パワフルに！

卒業生のコーラスグループを指導

長年高校で音楽を教えてこられた梅津直子先生。卒業生の多くは先生の授業を受け讃美歌を歌ってきた。2003年に退官されてからは現在も卒業生のコーラスグループ「COLLIS」を指導している。

現役の高校コーラス部の輝かしい活躍は皆の知るところであるが、「COLLIS」の歌声の素晴らしさも伝えたい。是非にと、レッスンの様子を取材させていただき、先生にお話を伺った。土曜日の午後の記念館。アカペラのポリフォニーが響く。中世の宗教曲をラテン語で歌う。この難曲の旋律をこれほど美しく正確な音程で響かせる事は、生半可なことではない。ここは中世ヨーロッパの教会なのか。声の重奏が光の束のように輝いて胸を打たれ、残響に酔いしれる。

メンバーはコーラス部卒業生で構成している。あの頃の合唱の楽しさを思い出し、特に宗教曲が忘れられず梅津先生の元に集まってくる。友人から誘われ、歌声に誘われ、大人の事情や家庭の事情で入れ替わりがあるものの、今は10数人のメンバーでこの美しいハーモニーを奏でている。月2回皆と会い歌うことがとても楽しみだと、口々に語る。梅津先生とメンバーは音楽を楽しむ大人同士。先生の熱い指導もユーモアに満ちカジュアルな空気に包まれている。毎年秋に開催される日立市民音楽祭に参加し、宗教曲やマドリガル(ルネッサンスの世俗的多声合唱曲)を披露する。様々な音楽が集う祭典でこの歌声はきつと観客を魅了している事でしょう。

先生が古楽と呼ばれるルネッサンス、バロック音楽に魅せられ、宗教音楽の美しさに目覚めたのは、宮城学院女子大学音楽科在学中。グリークラブに所属し、アメリカ人の宗教音楽教授ゲッツ先生の薫陶を受けた事が大きいという。グリークラブは全日本合唱コンクールでは上位入賞を重ね、東大コールアカデミーと混声合唱演奏会を開くなど、合唱の実績を重ねていった。

梅津直子先生



第61回日立市民音楽祭で「COLLIS」の指揮をする梅津先生(2025年11月)

1960年宮城学院女子大学卒業後、同じクリスチャンスクールの本学園に。先生の合唱の指導で市の音楽会や全日本合唱コンクールに出場し、その後関東大会にも毎年のように出場した。キリスト高といえば美しい合唱が自慢のひとつである。クリスマス礼拝には、メサイヤ(ヘンデル)の中のハレルヤを全生徒が合唱。その後、先生は当時珍しかったハンドベルの指導にも情熱を注いだ。先生の合唱やハンドベルの指導の基盤が、現在の生徒達の活躍につながっている。

しかし先生の情熱はそこで終わらない。卒業生のコーラスグループだけでなく、ハンドベルも卒業生や一般の方達のグループを2箇所も指導している。ご自分でハンドベルを買い揃え、車に積み込み練習場に駆けつける。さらに先生自身、コーラスグループ「LOTUS」に所属し、アンサンブルフェスタの舞台で歌っているという。スケジュールを伺うだけで、そのエネルギーな行動力に驚く。ここだけの話、梅津先生は1937年の生まれ。台湾からの引き揚げも経験した。明るく響く声で人生の足跡を山盛り聞かせていただいた。これからの続きも益々面白くなりそうです。

黒羽信子
(旧姓鷹岡・15回生)
東京都在住



歌い続けて30年

友人のおしゃべり、宿題を仕上げ、時にはまどろみながら北茨城から1時間40分余りの電車通学。

コーラス部に席を置き、部長としてメンバーを取りまとめ、顧問の梅津直子先生から宗教曲や童謡等の指導を受け、女性コーラスのすがすがしさを学園内外の音楽会で演奏した。

その中の1曲『The Lord bless you and keep you (主の恵は)』は、コーラスOB会のテーマソングとして現在も歌い続けられている。

本学園の短大教養科卒業後は、東京文化服装学院へ進学した。

夫、長男夫婦、次男と賑やかなご家族。地元の混声合唱団で歌い続けて30年。レパートリーは幅広く、組曲等の大作にも取り組みコーラスの醍醐味を味わっている。

原動力それは ZION

兎にも角にも楽しかった、今でも鮮明に覚えている。

2・3年の時が悪ガキクラスで、先生にあだ名を付けて呼び合う妙な連帯感。極めつけは真面目メンバーだけがクラスに残り、授業をみんなで抜け出したこともあったが、担任の梅津直子先生に叱られたことがなかった(覚えてないだけ?)。陰で見守ってくれていたのか、諦められていたのか……。とにかくメチャクガくて楽しいクラスでもあった。梅津先生とは、今では飲み友達(?)。高校時代に「楽シミン」と言う名の栄養剤を蓄えた。社会に出てもまれても、その栄養剤のお陰で頑張れているようだ。

高校時代のサークル(ワングル部)の仲間たちとの付き合いも続いていて、井坂光宏先生宅にみんなでお邪魔する度に、昔話で大変盛り上がる。とても居心地のいい所で、先生が亡くなった今でも、先生の奥様やお子さんたち家族と交流を続けている。

そして確信する。「多感な時期に、ZIONの先生方や仲間に出会えたことで育まれた人間力。卒業して50年以上経つ今もしっかり生かされている」と。



宇野美貴子
(25回生)
東京都在住

山田一博
(35回生)
水戸市在住



いつの間にか父の後を

高校在学中は、サッカー部に所属しつつ応援団にも在籍し、友人とロックバンドを組みドラムを担当。バンド活動に夢中になり水戸市内のライブハウスにも出演した。3年生で進路に悩むが、小学生の頃からクリエイティブな分野への興味があり、芸大・美大を目指したが、受験対策のスタートが遅かった事もありなかなか合格できず、美術系専門学校に入学した。しかし、あきらめきれず挑戦して武蔵野美術大学へ。そこで空間演出デザインを学び、建築の素晴らしさに出会い、卒業後都内の建築設計事務所に就職した。

その後、東京から戻り父の建築設計事務所に入所。2級、1級建築士の資格を取得し、間もなく勤続30年を迎える。高校生の頃は父の跡を継ぐなど頭になかったが、今は共同代表という形でスタッフ9名と切磋琢磨し、主に学校などの公共施設に関わっている。より良い建築、より良い環境の創出を目指し奮闘中である。

水戸で妻と愛娘とセキセイインコ2羽と暮らしている。

●いま輝いています●

Bright

笠間工芸の魅力を発信するアンバサダー

笠間工芸の丘(株)代表取締役
梅原尚美 (30回生) 笠間市在住

2025年6月20日、笠間工芸の丘株式会社代表取締役として就任。

東京ドーム約11個分の広さを持つ県立笠間芸術の森公園内に『笠間工芸の丘』は28年前に設立された。笠間焼の販売、陶芸体験、カフェレストランが併設された複合施設である。同敷地内には、茨城県立笠間陶芸大学校、茨城県陶芸美術館があり、国内でも類を見ない規模の陶芸のパラダイスと言えるであろう。

梅原さんはこれまでも笠間の観光と歴史を発信する施設で仕事をしていたこともあり、笠間の歴史と魅力について次のように語ってくれた。

笠間と言えはやはり『笠間焼』が地場産業として有名で、窯元文化はおよそ250年にわたり受け継がれてきており、幕末・明治・大正時代には生活日用雑器として全国各地に広まった。2020年笠間焼と栃木県の益子焼は、『かさましく兄弟産地が紡ぐ焼き物語』として、日本遺産に認定された。笠間は歴史の町でもあり、鎌倉時代に佐白山に笠間城が築城され城下町として栄え、多くの文化財がある。それらは、構成文化財として日本遺産に登録されている。焼物の里の条件として、笠間は最適である。花崗岩が風化して枯れ葉と混ざり質の高い陶土が生まれ、火力の元である山の木々が豊富であり、豊かに流れる水がある。窯元文化は、江戸時代には笠間藩がいくつかある窯元の産業振興と技術継承のために仕法窯(しほうよう)として支え、明治初期に笠間焼という名がついた。



現在の笠間焼は、代々続く老舗窯元の作家さん。この地区に移住してきた作家さん、茨城県立笠間陶芸大学校(旧笠間焼窯業指導所)の卒業生作家さんなど、合わせるると300人程が陶芸に携わっている。日用雑器として生産されていた頃の柿釉を用いた伝統的技法から、デザイン性に優れた様々な作風が生まれており、必ずお気に入りの作品が見いだせるのが現在の笠間焼である。最近開発された釉薬では、笠間稲田の成分の長石を使った長石釉、笠間の栗の木を剪定した枝を燃やして作る栗灰釉などがあり、笠間ならではの魅力である。

「私たちが生きて行く上で食べることに、着ること、住まうこと、いわゆる衣食住は大事です。そこに文化、それも継承される文化と新たに生み出される文化、それが心の栄養として欠かせない大切なことだと思っています。」

笠間工芸の丘では、2025年3月に館内を全面リニューアルしたばかり、多様なニーズに対応する笠間焼を紹介している。人間国宝の松井康成展示室をはじめ、2週間ごとに、2か所で行われ

漁師とサッカーと大イベント

浅利知哉先生の元でサッカーに明け暮れていたキリスト高校時代。早朝練習から始まり朝食で朝食を食べて、昼食も予約して授業を受け、そして放課後また練習。決して強いチームでは無かったけれど、浅利先生のつてにより毎年日体大との練習など、部活中心の充実した高校生活だったと思う。大学に進学してからもサークルではあったがサッカーを続けた。今でも毎年1月3日に母校でOBも参加する“初蹴り”を楽しんでいる。

卒業後は不動産関連の仕事に就いたが、その後親の経営している看板製作会社(B-LINE)の仕事と一緒に手伝うようになり、母校サッカー部横断幕も制作したりして今でも応援している。また、実家が久慈浜なので祖父の代から漁業権を持っており夏の間はサザエや伊勢海老漁もやり、市場に卸したり個人への販売もしている。

「家族経営の看板屋なので、これからも漁師も続けながら大好きなサッカーも続けていきたい」とのこと。

そして…、「今年、独身を卒業します!」と照れ笑いであ答えてくれた。



小野聡一朗
(65回生)
日立市在住



佐藤怜
(75回生) 水戸市在住
茨城大学教育学部英語専修
在籍

英語教師を目指して…

スターウォーズ / フォースの覚醒の Rey に由来し、優しく賢く目標に進む怜さん。中学時代は兄の影響で柔道部。礼儀や誠実さ、努力の大切さを学んだ。身近にいた教師を見て「英語を楽しく教える生徒のために頑張る教師になりたい」と英語が強いキリ高へ進学。

高校はバドミントン部。顧問で担任の片山友貴先生のご指導や日々の練習で強者に勝てるようになった。特進クラスで大会と模試が重なることもあり、忍耐力や自己管理能力を身につけた。社会科研究同好会にも所属。模擬裁判や国会見学などの活動を通して社会の仕組みを学び社会科克服にも繋がった。

大学はバドミントンサークル。水戸などの市民大会に向け活動。地域の高校と大学が連携して行う English Camp にも英語の実践のために参加。更に本校の藤本邦章先生が関わる INCICT (ICT 教育に力を入れている NPO 法人) の活動に参加し、教育の在り方も学んでいる。コーヒーチェーンでのアルバイトで顧客と対話することが生徒に寄り添う姿勢に繋がるとも考えている。

押し活はアーティスト Vaundy。「やりたいことを貫く姿勢」に共感しライブ鑑賞やグッズ集めをしている。フィリピンで幼児期を過ごし、小学校入学を機に日本へ。外国にルーツを持つ子供たちの役に立ちたいとも思う。



石井元氣
(55回生)
土浦市在住

スカット、一気飲み!

石井家の3兄弟。長男健康(たけやす)。次男元氣(もとき)。3男活発(かつあき)。健やかに人生を謳歌してほしいとの願いを込めて両親が名付けた。多賀中で軟式テニス部に在籍していたこともあり、男子テニス部に入学しモードメーカーの存在に。強豪20校が出場する県大会では連続優勝の成果を取めた。いわき明星大学の科学技術学部システムデザイン学科卒業。運送会社で運行管理業務の資格を取得し、現在は、(株)西濃運輸に勤務している。

会社の方針と顧客の要求バランスをいかにとるかその対応力が問われる日々だが、常に安全第一を心がけ、管理業務に携わっている。仕事終わりのルーティンは、スカットとさわやか、炭酸飲料の一気飲みで完了! 休日は、会社の仲間に誘われて始めたゴルフの腕に磨きをかけ、母の手作り餃子に舌鼓を打つ。

素晴らしい出会いに感謝

間もなく、五十路を迎える警察官。素晴らしい上司、同僚に恵まれ充実した日々を送っている。

高校では野球部に所属し休みなく練習に明け暮れ、家族以上の時を過ごした仲間とともに、社会を生き抜く強さを身につけ、東洋大学ではアメリカンフットボール部に入部。3年の春に大けがで入院した際、家族よりも早く病院に駆けつけたのは野球部の仲間だった。

大学卒業後、アメフトの実業団チームを持つ会社に選手として入社し、全米コーチオブザイヤーの受賞歴もあるジョン・ボントコーチからは指揮官としての「責任」と「覚悟」を学んだが、周囲のレベルの高さから悩み落ち込んだ。そんな時、野球部の仲間から「男 拓生へ」と題する手紙が届き気持ちを奮い立たせることが出来た。

そして時は流れ、長男もまたキリスト高校で学び、素晴らしい仲間に出会い私がかつて手紙もらった男、富田政行先生の授業を受けた。

これまでの人生、多くの「出会い」と「縁」に導かれ、自分一人では叶わなかったと思う。素晴らしい出会いの場となったキリスト高校に感謝!



山本拓生
(45回生)
日立市在住



笠間工芸の丘 (株) 全景



自慢の登り窯



登り窯の前に設置された陶のオブジェ

る企画展は、人気作家の魅力ある作品をクロージングアップしている。若手の現代アート陶芸の作品から民話をモチーフとした作品、カワイイからクールまで、実に様々な笠間焼がある。またクラフト工房では、誰でも気軽に陶芸体験ができる。ロクロク、手びねり、絵付けなど、インストラクターから手ほどきを受けて、自分だけの笠間焼を作る楽しさがある。

そこには、設立から受け継がれている経営理念として、「感動の創造」(お客様と喜びを共感することが私たちの願いです)を常に念頭に置いている。また、梅原さんが提唱した経営ビジョンが、「地場産業と観光の融合によって地域の価値を創出し、従業員が創意工夫と達成感をもつて働ける環境を育み、次世代の人材を育成しながら社会に貢献する企業」である。

これからも、笠間焼を中心にものづくりをされる作家さんが多く住む笠間ならではの、ワークシヨップ、講演会、マルシェなどをワクワク楽しいことを提供していくとのこと。来館者、作家さん、そして笠間工芸の丘で働く従業員の三方良しの精神を大切にしていきたいとのこと。ぜひみなさまも、笠間工芸の丘に足を運ばれてはいかがでしょうか。

=同窓会東京支部からのお知らせ=

茨城キリスト教学園高等学校同窓会東京支部主催

第5回 同窓会交流会

茨城キリスト教学園(シオン)OB・OGでしたら、何回生でも全国どこからでも参加可能です

- 着座式での特別お料理と飲み放題
- ジャズ&ボサノバのライブあり
- 役立つ税についての講演会あり
- ゆっくりとおしゃべりタイムあり

参加費：13,000円

10.17(土)
12:00~15:00
受付11:30

会場：アルカディア市ヶ谷私学会館
東京都千代田区九段北4-2-25
JR・地下鉄市ヶ谷駅より徒歩2分

役立つ税の話

雨海賢一さん(30回生)

元国税庁で査察官の経歴を持ち、
現在新日本総合税理士法人理事長
の雨海氏による「役立つ税の話」



山山スペシャルライブ

歌：山口由美さん(29回生)



ピアノ：山口コージさん

お申込み
お問合せ

東京支部長：名越実(22回生)
☎090-3136-1817

【メール】東京支部役員：佐川浩一(24回生)
vsagawa11@lake.ocn.ne.jp

メールで申込の際、氏名、〇回生、
連絡先(電話番号)を記載願います
締切日：8月10日

茨城キリスト教学園中学校高等学校コーラス部演奏会が 12月25日(金)水戸芸術館で開催されます!!

第3回
茨城キリスト教学園中学校高等学校
コーラス部演奏会
2026
12.25(金) 開場 14:30
開演 15:00
水戸芸術館
コンサートホールATM

指揮 赤津邦子
ピアノ 伊藤真理 伊藤優衣子

主催 公益財団法人水戸市芸術振興財団
企画 茨城キリスト教学園中学校高等学校コーラス部
後援 日本中教育委員会 茨城県小・中・高連盟
茨城新聞社 水戸新聞社コンパニオン協会
問合せ 水戸芸術館 ☎029-227-8111
茨城キリスト教学園中学校高等学校
☎0294-52-3215 ■ich.chorus@gmail.com

全席自由 大人 1500円
当日券 学生 1200円
前売券 一律 1000円

チケット発売 2026年8月29日(土)より
水戸芸術館コンサートホールコンサートセンター
水戸芸術館チケットセンター 029-227-8000
水戸芸術館Web予約 <https://www.artmuseum.jp/ich/>
かわまた楽器店 TEL029-228-0751
ヤマハミュージックジャパン水戸店 TEL029-264-0600
08時～20時

高校コーラス部は梅津直子先生が1960年に創部。その後一時活動を中断したが、赤津邦子先生が2016年に部活動を再開。中学コーラス部と共に中高コーラス部として活動をしている。

同年高校コーラス部が県代表として合唱コンクール関東大会に出場。昨年3月には、部員が中心となって創部以来初のコーラス部演奏会を日立シビックセンターで開催した。歴代コーラス部OGもかけつけ、制作、指導、OG合唱団としての出演もし、コーラス部に新たな歴史を刻むこととなった。今年3月には第2回演奏会も行った。

更に、水戸芸術館主催「茨城の演奏家による演奏会」に応募し、今年12月に第3回演奏会を水戸芸術館コンサートホールATMで行うことになった。

クリスマスの名曲の数々やOG合唱団によるロッキーニ作曲「信仰・希望・愛」など、茨キリならではの特別なクリスマスコンサートを企画している。

*日時=2026年12月25日(金)/15時開演(開場14時30分)

*指揮=赤津邦子先生

*第1部 讃美歌・クリスマスキャロル

*第2部 信仰・希望・愛

*第3部 キャロルの祭典

◆チケット代金 全席自由 当日券 大人1,500円/学生1,200円
前売券 一律1,000円

◆チケット販売 8月29日～
水戸芸術館/かわまた楽器店/ヤマハミュージックジャパン水戸店

- ★皆様のご来場を心よりお待ちしております。
- ★当日配布のプログラムへの広告掲載や協賛をお願いします。
- お申込み・お問合せ先：icjh.ich.chorus@gmail.com (橋本)

- コーラス部OGへのご願い
今後もコーラス部による演奏会企画を行う予定です。
演奏企画にご協力頂ける卒業生の皆様からのご連絡をおまちしています。

● 2025 年度同窓会への寄付者一覧 (79 件)
 〈合計金額 456,287 円〉 ありがとうございます

1 村松 修	20 藤原智子	37 磯崎幹子
4 笠原令子	20 沼田敏江	38 木村武俊
5 佐藤敏光	20 松田玲子	38 黒澤佳代子
8 安藤佳世子	21 南田文子	38 村山めぐみ
9 今村純一	21 鈴木和子	39 宮本聖子
10 幡谷靖子	22 打越紀子	39 中村美織
11 大谷俊恵	22 須賀陽子	40 勝瀬真年
11 戸張紀子	23 佐藤芳子	44 星野由香里
12 菊池 義	23 馬目和枝	45 西村真樹
13 坂本喜伸	23 弓野孝子	46 井上直行
14 丹羽智恵	23 武士一枝	51 野澤仁美
15 岡田敏子	26 遠藤敬子	53 山形亜由美
15 赤井美智子	27 大森明美	57 松崎 藍
16 鎌田和子	28 小野由利子	68 瀧田 優
16 菅谷 弘	29 永山卓弥	71 森下実紀
17 小野田洋子	29 安田邦明	72 瀧田 蒼
17 若松守正	30 富木貞之	74 富山歩実
18 富田ひろ子	30 金澤邦博	75 後藤結以
18 郡司任孝	31 渡辺利枝	7 旧職員 原田きよ
19 鈴木康子	33 川上光彦	旧職員 菅原信子
19 手塚正子	34 石井由香	旧職員 大槻富美子
20 菅原卓子	34 武田邦子	旧職員 藤岡 尚
20 村田 亮	34 小林れい子	16 回生一同
20 近藤弘子	35 片岡知子	17 回生組「様の会一同」
20 穴澤利枝子	35 野寺聡子	ホームカミングデー寄付
20 町田香津光	36 鈴木直子	匿名 2名

「ZION」発行への寄付のお願い

同窓会は、今年度新たに76回卒業生275名を迎えました。毎年2万人以上の卒業生への「ZION」発行と送料などで200万円以上の経費が必要です。皆様のご協力をお願い致します。金額については1口2000円以上とし、入金方法は、同封の「ゆうちょ銀行」払込取扱票（ブルーの印字）をご使用下さい。

● ご勇退されました。ありがとうございます!

2025年3月・馬目泰宏先生・柏木恵梨菜先生
 ・白倉雅先生・竹原美紀さん

● ご逝去されました

・稲野辺桂一さん・堀江信男先生
 ・杉本（浅野）恵子先生・熊崎伸一郎先生

第77回シオン祭

「うる祭くらいがちょうどよい」

文化の日です。今年も晴れです。コロナ禍で一時的に中止していたが、再開しはじめた時から段々と集まり今回はうる祭になってきた感じがする。

我が高校同窓会出店では、お馴染みのフィギア、笠間焼、サザコーヒー、古本、バザー等で、まずまずの売上を確保することができた。また、何人か卒業生も立ち寄りいただき懐かしい話で盛り上がりを見せてくれた。卒業以来母校を訪れたことの無いあなた、「11月3日」お気軽にシオン祭に来てみませんか。あなたの参加がうる祭らしくてくれますよ。



全国高校駅伝

■陸上競技部（女子）

令和7年10月25日、ひたちなか市総合運動公園周辺周回コースで行われた、女子第37回全国高校駅伝大会県予選となる大会で、6年連続27度目の優勝を飾った女子陸上部は、同年12月21日、京都市・たけびしスタジアム京都で行われた全国大会に6年連続28度目の出場をし、昨年の19位を上回る12位の結果となった。次回大会でのさらなる飛躍を期待したい。



第3回演奏会に向けて OG が猛練習!

■コーラス部



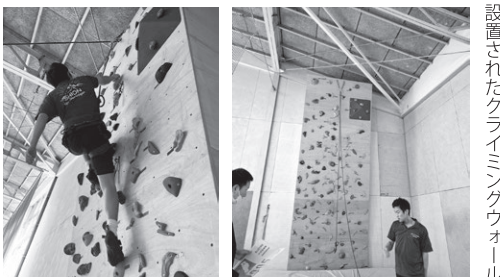
12月25日の演奏会に向けて練習を重ねるOGたち

競技登山

■ワンダーフォーゲル部

ワンダーフォーゲル部は、近隣の山々を楽しく安全に登る活動だけでなく、スポーツクライミング活動分野があり、他校と競い合う競技登山にも積極的に励んでいる。各部員が一生懸命に取り組んでおり、ほぼ毎年関東大会に出場する程である。また2年連続で全国大会にも出場している。

2025年には、寄付金をいただき、高校体育館の2階にクライミングウォールを設置した。部員一同、充実した環境でより高みを目指して日々練習に取り組んでいる。



設置されたクライミングウォール

開催しました!!

■21回生 5組

2025年10月4日(土)、水戸京成ホテルで16名が参加。前回(2023年9月)までは、同級生が経営するひたちなか市「まるしめ」が会場だった。2~3年毎に開かれ、今年で8回目。散会后は、6名が新しくなった校舎や学園記念館を訪ね、コーラスOB同好会の指導をされている梅津直子先生にもお会いできた。



編・集・雑・感

今回No.46は、音楽に関わる取材記事内容が多く載せられている。あらためて音楽とはなに?と問われると
 “文字の無い遠〜い昔、人間は道具を使って音を鳴らしてリズムを付けて、子孫に伝統文化を伝えるためのメディアである”と、私は想像する。我がキリスト高校は歴史あるコーラス部がある。歌声でこれからも文字には表現出来ない我が校の伝統文化を、伝えて行きたいものである。(IK)

★本誌編集スタッフ募集!

- 編集スタッフ
 佐藤寿子・岡田貴子・手塚正子・荒川眞理子
 原田順子・松田玲子・高野雅之・池ノ辺浩
 安達和子・芳賀友博
- デザイン：M-at

ゲスト
出演

2026年度 同窓会総会

ホームカミング・デイ

- 6月6日(土)
- ローガン・ファックス記念講堂
 (旧学園講堂)
 総会・催し・楽しい集い
 13:00～16:00

参加費無料です!



笑顔満開「倅せ玉すだれ」
 ＊さくら小町＊
 安達和子(29回生)・他
 ★その後は「楽しい集い」and「大抽選会」

大みかの杜 スタジオ&カフェ

音楽発表会
楽器練習
各種教室
撮影・配信
写真展
セミナー
単発レストラン
パーティ

日立市大みか町 6-17-60 090-2322-5140 中井川俊洋 28回卒

DEFI

DEFI 見川店
〒310-0913
水戸市見川町 2131-87
TEL 029-350-8785
FAX 029-350-8786

DEFI 京成百貨店
〒310-0026
水戸市泉町 1-6-1
水戸京成百貨店 B1
TEL 029-350-2639

DAIGAKU BOWL

大学ボウル

株式会社ダイガクコーポレーション
 大学ボウル土浦本店 / 土浦市真鍋 4-14-21
 大学ボウル水戸店 / 水戸市元吉田町 1059-3

Anchor Staff

●人材派遣業務 ●プロモーション業務

株式会社アンカースタッフ

取締役 黒木 亜希子 (37回卒)

水戸市袴塚3丁目3-52 アンカースタッフビル
 Tel.029-350-1551 Fax.029-350-1552

動物の看護と美容を学ぶなら

(一社) ジャパンケネルクラブ認定協力機関

グリーンヒルグルーミングスクール

金沢正代 (17回卒)

水戸市千波町 1286-8 TEL029-244-7145
 www.greenhill-grooming.co.jp

富士企業(株)

310-0913 水戸市見川町2410
 TEL 029-243-1777 FAX 029-243-1793

焼肉レストラン

風林

大小御宴会歓迎・送迎バス完備

青柳店 ☎(227)7606 (青柳公設市場通り)

ルブラン

フランス菓子

水戸市千波町370 TEL.029-241-1991
 http://www.leblanc.co.jp

おかげさまで五浦観光ホテルは
創業90周年を迎えます

五浦観光ホテル 別館 大観荘

常務取締役 女将 村田和華子 (35回卒)

北茨城市大津町722 TEL 0293-46-1111(代)
 http://www.izura.net/

茨城ゼミナール

進学教室・フリースクール・中高大受験
キリスト、茨城中クラス・看護科受験

西宮 秀樹 (31回卒)

ひたちなか市表町5-1 メゾンビル2F ドンキホーテ隣
 TEL090-3246-1760

Dg Divergence

ダイバーゼンス株式会社
代表取締役：栗原 亮 48回卒

●WEB・EC制作事業 ●System Integration事業 ●MOBILE事業

ACCESS：東京都港区海岸3-13-12
 MAIL：info@diver-gence.com TEL：090-8165-7003

NEXT-カフェマ

川島プロパン・住まいのカワシマ・らぼーるカワシマ

住まいのコンビニ
らぼくらぶ
http://puron.co.jp

本社：茨城県ひたちなか市津田2941 TEL.029-273-8751
 日立：日立市川原面5丁目4-15 TEL.0294-42-7111

うかるくんともうかるくん

茨城県日立市
非公認キャラクター

金運上昇! もうかるくん 必勝合格! うかるくん

https://www.facebook.com/Ukarukun
 Email ukarukun@hkp.co.jp

HOME ROASTED SAZA COFFEE

SINCE 1969

鈴木誉志男(10回卒)・鈴木太郎(40回卒)

本社：ひたちなか市共栄町8-18
 TEL 029-274-1151
 www.saza.co.jp

★広告掲載(有料)希望される方ご一報ください